

多摩

組報 多摩 7
 発行日 2007年11月1日
 浄土真宗本願寺派
 東京教区 多摩組
 事務所/圓福寺内
 東京都調布市国領1-10-11
 〒182-0022 042-482-7955
<http://www33.ocn.ne.jp/~tamaso/>



教区会議員 伊東道雄
(長専寺住職・前組長)



組長 藤本 彰
(圓福寺住職)

平成19年4月1日より 新役員で 多摩組スタート



副組長 細川真彦
(覺證寺住職)
仏婦・仏壮・幼少年担当



副組長 佐々木了宣
(明西寺住職)
総代世話人・僧侶・門推担当



副組長 酒井 淳
(西照寺住職)
連続研修部部长・広報担当

組長挨拶

多摩組組長 藤本 彰

この度、平成十九年四月一日付で多摩組組長に選出されました圓福寺藤本彰でございます。

規定では四年任期であります。今任は親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が平成二十三年に修行されます関係により一年長い五年間となります。

組の役職者として、副組長に西照寺の酒井淳住職、明西寺の佐々木了宣住職、覺證寺の細川真彦住職、相談員に圓成寺の圓城知道住職にお引き受けいただけることとなりました。

さて、伊東前組長、斯波元組長の会計担当として組の運営にかかわってきましたが、このたびは組長という大役をおおせつかることとなりました。

不安な気持ちでいっぱいではありますが、副組長、相談員ならびに組内各寺院のご理解ご協力をいただき、微力ながら尽力いたす所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

今任期中の一番大きなものとしては、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要であります。平成二十三年にご本山で修行されますが、大遠忌お待ち受けとして全国八都市、教区、別院、組等での法要行事等が予定されておりますので、組内寺院各位におかれましてはご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新役職者ご紹介 (順不同)



壮年研修部部长 佐々木賢秀
(正善寺住職)



総代研修部部长 網代正孝
(延浄寺住職)



相談員 圓城知道
(圓成寺住職)



僧侶研修部部长 松本智量
(延立寺住職)



婦人研修部部长 岡本信之
(大恩寺住職)



幼少年研修部部长 内手弘充
(浄弘寺住職)



会計 伊藤寛之
(應善寺住職)



広報部部长 藤原忠房
(誓願寺住職)
清風会会長



厚生部部长 飯田 修
(仙川光西寺住職)



顧問 五十嵐大策
(玄忠寺住職)



顧問 酒井一真
(西照寺前任職)

組長の任期を終えて

多摩組前組長 伊東道雄

二期、八年間の組長職を終えて、今は「ホツ」としております。

二十六ヶ寺のご住職・ご寺族並びにご門徒の皆様には、各方面からのお力添えをいただきましたことに感謝申し上げます。親鸞聖人は「真の仏教は学問でもなければ儀式でもない。よき人、よき友との出会いの中にこそ、血の通った仏教がある」と生涯をかけて実践されました。

多摩組という組織を多いに活用して、出会いを求め、縁を大切にしていくなことを念じて、ご挨拶とさせていただきます。



世界スカウト ジャンボリーに参加して

圓成寺住職 圓城 知道

みなさんは、スカウト（ボーイスカウト・ガールスカウト）をご存知ですか？
信仰心を持ちながら、キャンプをしたり、奉仕活動をしたりする中で、より良き青少年を育てる団体です。

この活動が始まってちょうど百年の今年、発祥の地イギリスで七月二十八日から八月七日まで、日本からは、スカウト、指導者を合わせ千五百人、世界各地一四九の国と地域から約四万人が集まり、第二十一回世界スカウトジャンボリーが開催されました。

そこで、本願寺派スカウト指導者会としては、総裁をしていただいている新門様とともに、当地にて、百周年記念行事に参加したり、初めてスカウトのキャンプが行われた、ブラウンシー島の見学などを行ってまいりました。

世界中でいろいろ争いや憎しみのな
くならない今日、スカウトは、人種や民
族、宗教に関係なく、世界中でいろいろ
な活動をしてきており、とても信頼をさ
れている団体のひとつです。

特にわが宗派は、仏教各宗派の中でも

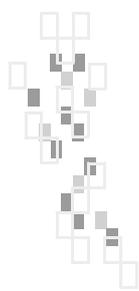
活動が盛んで、単に門徒さんのお子さん、お孫さんという枠にこだわらず、多くの子供たちが集える活動を行っており、「いのちの大切さを知る」「手を合わせる」きっかけを作って行きたいと思っています。

多摩組においては、ボーイスカウトが、明西寺（仙川）に調布9団と圓成寺（町田）に町田6団が活動しており、ガールスカウトは、圓成寺に東京都126団が活動しています。

そのほか東京教区内には、築地別院や和田掘廟所をはじめ、たくさんの方が活動しています。

来年には、静岡県三島市において、本願寺派スカウトジャンボリーも開催され、全国の本派のスカウトが一堂に会します。

いのちが粗末にされ、争いの絶えない今日だからこそ、いろいろな年代の子供たちが一緒に、野外などで活動する中で、互いに助け合ったり、奉仕を「してやるのではなく」、「させていただく」という心が養えたり、宗派が進めている、「全寺院『子どもつどい』キッズサンガ」にも通じるスカウト活動に、ぜひ参画、応援をお願い致します。



大谷光真門主著

『世のなか安穩なれ』

現代社会と仏教

中央公論新社刊

今年の春、大谷光真門主の著書『世のなか安穩なれ』が中央公論新社から発行されました。表題の『世のなか安穩なれ』は平成二十三年にお迎えする「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要」のスローガンにもなっています。このお言葉は親鸞聖人の御消息（お手紙）に出てまいります。が、この混迷する時代の中で、安穩な世の中を願う、その実現に向かって歩む念仏者でありたいという法要を迎える教団の願いが込められています。

この度の著書は平成十七年に立命館大学の特別講座でのご門主の講演や、その時に受講生から寄せられた学生の質問にお答えになったもの、さらには中央公論や文芸春秋などの雑誌に寄稿された原稿などが納められています。

いずれも戦争と平和・脳死・臓器移植・自殺・カルト問題などの現代の抱える課題について御門主が真摯に応えておられます。

現代社会の課題に取り組むための提言として、ご門主は善か悪かプラスかマイナスかという単純な二元論の克服をあげられておられます。「現在のアメリカの外交政治を見ていますと、単純な二元論に立っているように思いますが、それはかえって争いが広がるのではないかと述べられ、親鸞聖人の示された「悪人正機」という視点が、「自分を善人の側においていいのか」という自分自身の問題」だと提示されておられます。

是非ご一読ください。

仏教壮年会

多摩組仏教壮年会連盟活動報告

理事長 大久保賢吉朗

東京教区仏教壮年連盟結成記念日研修会
平成十九年二月十日、十一日に熱海後楽園ホテルで開催された、東京教区仏壮連盟の結成記念日研修会は好天に恵まれ、記念日研修会の規模としては初めての、三百五十名という大勢の参加者を得て、成功裡に終了しました。

多摩組からは、二十ヶ寺から総勢百五十名が参加しました。

この研修会は、毎年、教区の中の組が持ち回りで担当してきましたが、今回は多摩組の担当で準備が進められました。

今回の研修会では、いくつかの新しい試みを取り入れさせていただきました。

その一つが夕食後の懇談会でした。関東一都八県の遠近各地から人々が集うということに着目し、教区仏壮連盟の理事および組の実行委員有志に協力をお願いし、各地の地酒を持ち寄っていただきました。

参加者からはまあまああの評価をいただき、多くの方々とのご縁を一層深めることのできた研修会でした。

連盟役員の内任期延長

長年の懸案であった仏教壮年令の全国組織の連盟化が、いよいよ実現し、他の教化

団体（仏婦、仏青等）と同等の独立性が確保されるはこびとなりました。

組連盟としては、教区連盟の意向をうけて、平成二十年四月の全国組織の連盟化の実現を円滑に達成すべく、組連盟役員の内任期の一年延長を決定しました。

仏壮新規設立寺院の紹介

覺證寺仏教壮年会

覺證寺住職 細川真彦

当寺で発足しようとしているのは、門信徒有志の親睦会、相互交流会とでも言おうか。男女を問わず年齢を問わず、とにかく縁のある門信徒なら誰でもOK。家族会員まで募集してしまおうというくらいだから、場合によっては仏婦（仏教婦人会）にも、可能性としては仏青（仏教青年会）にもなり得ないことはない・・・。

そもそも定例法座や清掃奉仕、旅行などでお互いに親しくなったご門徒何人かとくに多摩組の連研や仏壮連盟などにも参加しているご門徒が中心になり、とにかく自分達が自主的に集まって何かをしようということ、昨年からの会の設立準備が始まった。

さらにこの準備と同時進行的に、今年五月に当寺で挙行した本堂客殿庫裏の落慶法要にあたって、ご門徒のボランティア・スタッフを募集した。これには五十名近いご

門徒の協力があり、発足への弾みがついた。

その流れにまかせて、十一月の報恩講で設立総会を開くところまで進んできた。

西照寺仏教壮年会

西照寺住職 酒井 淳

二月に多摩組の担当で開催されました熱海での仏教壮年会結成記念日研修会に、西照寺より世話人・門徒推進委員を含め十一名が参加させていただきました。

二名のご講師からの御法話、またその晩の懇親会は大変有意義で、しかも懇親会では他の寺の参加者また他組の参加者の方々と膝を交えて懇親を深めさせていただきました、盛り上がりました。また翌日のパネルディスカッションでも多くの示唆を頂戴しました。この会を主体的に運営された多摩組仏壮の理事また実行委員の方々に深く感謝いたします。

この会の帰り道、真鶴で昼食の折に大会に参加者された方々より西照寺でも仏壮を作りたいとの相談を受けました。早速総代会に諮り了承を受け、十月一日付けにて、東京教区教務所に設立の届け出をいたしました。

この会が門信徒のさらなる交流の場になることを期待しております。

仏教婦人会

東京教区仏教婦人会連盟

結成五十周年記念大会

十月九日、東京都港区にあるザ・プリンス パークタワー東京。二千名の仏教婦人で熱気あふれる会場に仏教婦人会総連盟総裁である大谷範子裏方様が入場。続いて連盟旗、会旗の入場、各組代表による献灯・献華・献香によって、「東京教区仏教婦人会連盟 結成五十周年記念大会」が始まりました。



女性の僧侶・コーラス隊による「音楽法要 重誓偈作法」は、普段聴くお経とはまた違った、とても神秘的で荘厳な雰囲気がありました。

記念講演は宗教評論家・ひろさちや先生が「ともに生きる いのち見つめて」の題でお話をされ、「舌切りスズメ」や「ウサギとカメ」の話を例えに、「何だつていいものは、何だつていい」と、分かり易く、ユーモアを交えてお話し下さいました。

その後、「東京教区仏教連盟五十年の歩み」をスライドで鑑賞。連盟の歴史を築いてきた諸先輩方に敬意を表すとともに、この伝統を次の世代に受け継がなければとの思いを新たにしました。

そして記念法話。法話楽団・迦陵頻伽（かりようびんが）の皆さんが「悲しみの向こうで あなたに遇える」と題し、音楽演奏や童謡をみんなで歌ったりしながら、お話し下さいました。音楽を交えながらのご法話は、とてもありがたく、心に染みましました。

記念大会のあとは、場所を移しての祝賀会があり、他寺院の仏婦とも交流を深めることができました。

この記念大会を機にますます仏婦活動が盛んになり、多摩組の中にも単位登録する寺院が増えればと思いました。大変有意義な大会でした。

(横田)

門徒推進員連絡協議会の発足

平成十九年度より多摩組基幹運動推進委員会の一組織として門徒推進員連絡協議会が発足いたしました。

「門徒推進員」は、親鸞聖人のみ教えに学び、その教えに生きる喜びと自覚をもつて、寺院の教化組織、組・教区の基幹運動推進委員会とともに基幹運動を推進する役割を担っています。

「門徒推進員連絡協議会」は、門徒推進員の研鑽と相互の活動・情報交換などのために設置され、現在六名の門徒推進員で構成されています。

今年度は、活動の一環として門徒推進員の自主的な学習会を実施しております。六月七日・七月二十九日・九月八日と回を重ねております。学習の教材は、歎異抄と



し、参加者が持ち回り講師として、門徒推進委員に限らず、趣旨にご賛同の方のご出席を頂き話し合い形式で行っております。

(佐藤)

多摩組門徒子弟研修会

たまそ サマーキャンプ in おおつき



いのちを大切に育てるほとけの子が育つてほしいという願いのもと、今年も七月二十六日、二十七日の一泊二日で、山梨県大月にある『金の森山荘』を中心に門徒子弟研修会「たまそサマーキャンプ」が開催されました。

一日目は、子どもたち五十九名スタッフ二十五名の総勢八十四名の参加者が、八王

子専念さま本堂に集合し、教務所長山内教頭師を迎えご住職導師でお勤めをして、開会式が始まりました。その後、バス二台にて金の森山荘に移動して、川遊びにクラフト、バーベキュー、夜はキャンプファイヤーで一日が終わりました。

二日目は、子どもの代表が「おおさじ」の導師をつとめ、延立寺松本智量先生に法話をいただき、朝の散策をしながらごみ拾いをし、朝食のあと青竹を切って細工し、それぞれのマイコップをつくりました。昼食をすませ、山荘をあとにして都留組福正寺さまの本堂をお借りして、閉会式を行いました。

自然の中で、ともに生き生かされている私のいのちについて学び、仏前での礼儀作法や食事のことばなどを通して常に仏さまといっしょという二日間を過ごしました。

今年で十二回目を迎え、複数回参加の子どもたちも増え、卒業したあともスタッフとして手伝いに来る子ができてきていることは、非常にうれしいことであり、続けていくことの大切さを実感させられます。

多摩組としても大切な行事の一つのサマーキャンプですが、現地でお世話をしてくださるスタッフはもちろんのこと、それまでの準備等ご協力をいただいている皆様方のおかげで成り立っていることです。この場をお借りして、御礼申し上げます。

あとは、参加した子どもたちがそれぞれに、この二日間で経験したこと、学んだこと、家に帰って少しずつでも続けて行ってくれることを願っております。(内手)

多摩組 総代世話人研修会 開催

去る六月二十三日に例年多摩組で行われる「総代・世話人研修会」が、連続研修と共催で仙川の明西寺で開催されました。

この研修会は、組内各寺の総代や世話人の皆さんの一層のみ教えの理解への深まりや各寺院間の交流、そして貴重な経験の語り合い、共有する問題点の解決への研究など色々取り組んできて、その成果もかなり上がっています。

今回は昨年の大みそかの紅白散合戦で歌われた「千の風になって」が、私達の宗教観と似かよっているとの事で、み教えとのかかり合いやつながりについて、もう一歩突っ込んで知りたいとの皆さんのご意見を踏まえて、この辺にお詳しい田久保園子先生に、その歌と意味する宗教観、浄土真宗のみ教えとのかかわり等、熱心な質疑を交えてご指導を頂きました。

当日は割合暑い日となりましたが、連日研修者、総代世話人の方々や僧侶の皆さんを含めて、約七〇名の方が参加し熱心に聴講され大変有意義な一日となりました。

(西川)

テレホン法話

「こころの電話」(築地本願寺)
電話で聞こう3分間法話



03(3541)0282
03(3541)0294



住職に聞きました

お寺を訪ねて

阿弥陀寺（多摩市桜ヶ丘）

阿弥陀寺は、京王線「聖跡桜ヶ丘駅」または「永山駅」よりタクシーで基本メニューの距離に位置しています。
先代の五十嵐明宝住職は、昭和三十八年、浄土真宗のみ教えを弘めるために、寺基を新潟県から当地に移転されました。

一方、大東文化大学教授、東洋大学講師などインド仏教哲学の権威者として活躍されるとともに、浄土真宗本願寺派の勸学に任ぜられ、献身的に布教活動に努められたご住職でしたが、残念ながら平成十三年にご往生されました。

現在のご住職は、先代明宝ご住職の奥様で、誠実な人柄で実行力があり、先代の遺訓を忠実に引き継がれております。

平成十五年には先代の命日である毎月二十八日に、門信徒の集える開かれた寺として「明宝会」を発足しました。その活動は、毎月一回、寺を開放して、会員が一堂に会し昼食をしながら、ご安心や日常の悩みなどを話し合い、思いやる心や感謝の気持ちの大切さを味わっています。

現在は十一のサークルを持ち、茶道 絵手紙 折り紙 写経 ピアノ 俳句 ペン習字 読経 炊き出し（昼食作りの共同作業） 写真 将棋、の各活動で、一日の出会いを互いに喜び合っています。

その他、年一回の作品展や旅行等を行っています。また、寺の会報として「阿弥陀寺だより」を年三回発行し、前任職の遺稿文や諸行事を掲載して門信徒に大変喜ばれています。

これらの活動を通じて、阿弥陀寺は、如来様のみ教えの下に門信徒が丸になり、御同朋御同行の精神で、如来様の智慧と慈悲の心を賜ることを目的に、お念仏を歡ぶ場としての寺院をめざしております。

（永淵信幸）

多摩組の行事予定

2007(平成19)年

- 10月20日 仏教壮年会研修会（連研合同）
- 11月11日 より築地別院報恩講
- 1月9日 より京都本山御正忌報恩講

2008(平成20)年

- 2月9日～10日
教区仏壯連盟結成記念日研修会
（三浦 1泊2日研修会）
- 2月12日
仏教婦人会研修会（連研合同）

僧侶研修会（期日調整中）

多摩組第七期連続研修会のご案内

- 第3回 10月20日（土）
西照寺にて
講師 白川淳敬師
- 第4回 12月12日（水）
専念寺にて
講師 松本智量師
- 第5回 2月12日（火）
明西寺にて
講師 未定
- 第6回 3月（期日調整中）

1年間に6回開催される、この連続研修会と、本願寺での中央教修を終了すると、門徒推進員の誕生となります。

西本願寺(京都・本山)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

電話 075(371)5181

FAX 075(351)1211

本願寺築地別院(築地本願寺)・東京教区教務所

〒104-8435 東京都中央区築地3丁目1番1号

築地別院電話 03(3541)1131

教務所電話 03(3541)1666

東京教区多摩組寺院所在地

調布市

光徳寺(こうとくじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-38-27

03(3300)6431 FAX03(5384)3344

(法座:不定期 お問い合わせ下さい)

明西寺(みょうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-43-5

03(3300)1901 FAX03(3300)2681

(法座:10日前後婦人会 1.4.8月壮年会)

延浄寺(えんじょうじ) 〒182-0006
調布市つつじが丘2-30-1

03(3326)7337 FAX03(3326)5037

(法座:毎月29日・第2土曜 門信徒会)

長専寺(ちょうせんじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-4

042(482)3411 FAX042(498)1105

(法座:不定期)

西照寺(さいしょうじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-39

03(3300)7734 FAX03(3300)7794

(法座:毎月8日・第4土曜 親鸞会)

光西寺(こうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-2

03(3300)5054 FAX 同左

(法座:不定期)

光源寺(こうげんじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-11

03(3300)0881 FAX03(3308)6289

(法座:隔月奇数月 お問い合わせ下さい)

覺證寺(かくしょうじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-4

042(482)5556 FAX042(480)0166

(法座:第1土曜日)

正善寺(しょうぜんじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-42-5

03(3300)6064 FAX03(3300)6687

(法座:第1日曜日(1日なら8日))

安養寺(あんようじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-5

03(3307)5605 FAX03(3307)5496

(法座:第1日曜日)

圓福寺(えんぶくじ) 〒182-0022
調布市国領町1-10-11

042(482)7955 FAX042(481)4734

(法座:不定期)

国立市

應善寺(おうぜんじ) 〒186-0002

国立市東2-2-1

042(572)0043 FAX042(572)0148

(法座:毎月1日・16日)

立川市

光西寺(こうさいじ) 〒190-0021

立川市羽衣町3-20-16

042(522)3413 FAX042(524)7788

(法座:毎週金曜晚 各種仏教講座)

小平市

照恩寺(しょうおんじ) 〒187-0041

小平市美園町3-23-20

042(341)2935 FAX042(347)4122

(法座:毎月13日・第1土曜・第4土曜)

青梅市

浄弘寺(じょうこうじ) 〒198-0036

青梅市河辺町8-19-8

0428(32)1769 FAX0428(32)2010

(法座:第3土曜日)

八王子市

専念寺(せんねんじ) 〒192-0063

八王子市元横山町2-14-24

042(644)3491 FAX042(648)6087

(法座:隔月1回 お問い合わせ下さい)

誓願寺(せいがんじ) 〒193-0816

八王子市大楽寺町209-5

042(651)0073 FAX042(651)6183

(法座:第3木曜日)

光照寺(こうしょうじ) 〒192-0912

八王子市絹ヶ丘3-8-1

042(635)3754 FAX 同左

(法座:不定期)

本光寺(ほんこうじ) 〒193-0832

八王子市散田町4-40-10

042(664)2196 FAX042(663)2501

(法座:不定期 お問い合わせ下さい)

延立寺(えんりゅうじ) 〒193-0802

八王子市犬目町681

042(654)2429 FAX042(654)6930

(法座:第4月曜日)

大恩寺(だいおんじ) 〒193-0943

八王子市寺田町1085

042(668)0889 FAX042(668)1825

(法座:第2土曜・第4日曜・第1土曜(婦人会))

町田市

圓成寺(えんじょうじ) 〒194-0004

町田市鶴間1210

042(795)0181 FAX042(795)0444

(法座:毎月28日)

圓成寺出張所(えんじょうじ) 〒194-0035

町田市忠生3-24-13

042(792)3007 FAX042(792)3006

(法座:毎月10日 休日なら翌日)

町田布教所(まちだふきょうじょ)

高源寺(こうげんじ) 〒195-0063

町田市野津田町2534-20

042(737)3236 FAX 同左

(法座:第2土曜・23日前後の平日)

多摩市

阿弥陀寺(あみだじ) 〒206-0013

多摩市桜ヶ丘1-24-2

042(375)8055 FAX042(337)4889

(法座:年3回・毎月28日 明宝会)

稲城市

玄忠寺(げんちゅうじ) 〒206-0822

稲城市坂浜878-6

042(331)3655 FAX042(331)3511

(法座:第3日曜日)

(法座へお出かけの折には、必ず電話にて日時をご確認の上、お出かけ下さい。)